

■コメント

1. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり11.2人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数は17人で、増加傾向にあります。(次頁参照)

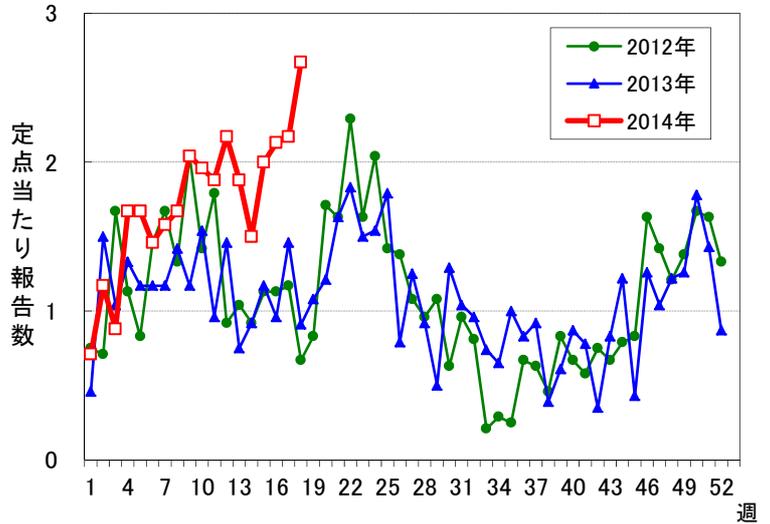
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は2.67人と、やや増加しました。例年同時期と比較して多い状態が続いていますので、注意が必要です。

3. インフルエンザ

定点当たり報告数は1.86人と、大きく減少しました。終息に向かっていると考えられますが、引き続き手洗い・うがいの励行など、感染症予防を心がけましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	69	1.86	1.42	↓	小児科	流行性耳下腺炎	15	0.63	0.47	↔
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.38	↔	眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.09	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	2.67	1.08	↔		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	269	11.21	7.30	↔	基幹	流行性角結膜炎	4	0.50	0.93	
	水痘	17	0.71	1.10	↔		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	-	-	0.91			無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.24			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.20	
	突発性発しん	10	0.42	0.35			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	17	2.43		↗
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.09							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↔ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	60	女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・1人、女性(50歳代)・3人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)
報告数	第14週	190	8	36	168	32	-	-	10	-	4	9	-	-	2	1	1	-	-	6
	第15週	174	9	48	234	7	-	-	19	-	7	8	2	-	6	-	-	1	-	11
	第16週	171	8	51	249	24	1	-	13	-	1	17	1	-	3	-	-	1	-	7
	第17週	145	5	52	258	17	2	-	12	-	2	20	3	-	5	-	-	-	-	10
定点当たり	第14週	5.14	0.33	1.50	7.00	1.33	-	-	0.42	-	0.17	0.38	-	-	0.25	0.14	0.14	-	-	0.86
	第15週	4.70	0.38	2.00	9.75	0.29	-	-	0.79	-	0.29	0.33	0.08	-	0.75	-	-	0.14	-	1.57
	第16週	4.62	0.33	2.13	10.38	1.00	0.04	-	0.54	-	0.04	0.71	0.04	-	0.38	-	-	0.14	-	1.00
	第17週	3.92	0.21	2.17	10.75	0.71	0.08	-	0.50	-	0.08	0.83	0.13	-	0.63	-	-	-	-	1.43
全国	第16週	4.65	0.37	2.12	7.61	0.88	0.12	0.16	0.62	0.01	0.06	0.25	0.16	0.01	0.52	0.02	0.03	0.26	-	0.55
	第17週	4.03	0.48	2.37	8.58	0.92	0.16	0.15	0.62	0.01	0.09	0.23	0.14	0.01	0.59	0.01	0.03	0.23	0.02	0.70

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.2) 肺炎	14	女	2014/02/10	咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるロタウイルス検出状況及び基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数

図1 迅速診断キットによるロタウイルス検出状況

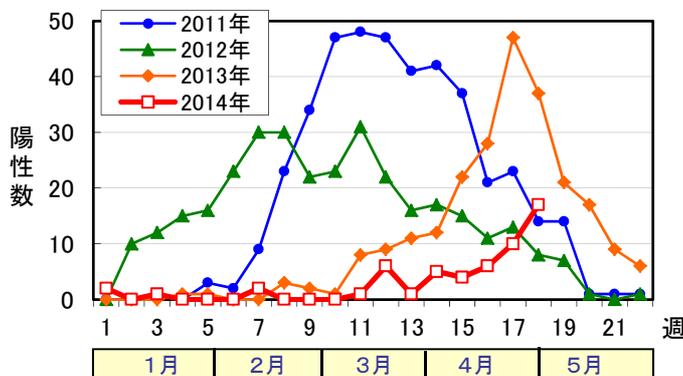
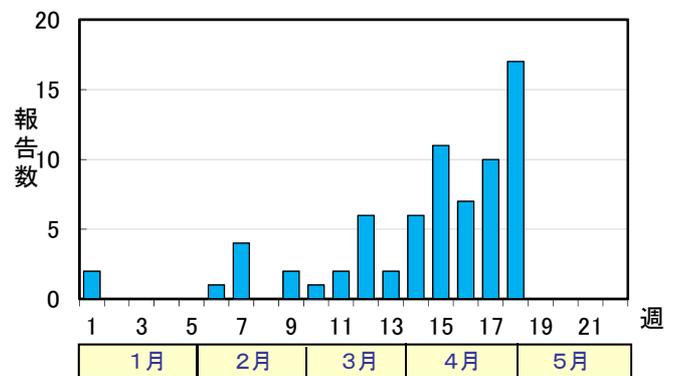


図2 基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



感染性胃腸炎の原因ウイルスとしては、例年、全国的に、12月から2月頃はノロウイルス、3月から5月頃はロタウイルスが多くなる傾向があります。市内の基幹病院2か所によるロタウイルスの迅速診断キット検査結果(図1)では、今年は過去3年と比べて少ない状態でしたが、第16週から3週続けて増加しており、今後の動向に注意が必要です。

また、昨年10月から、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)が基幹定点による届出対象疾患に追加されましたが、その報告数も徐々に増加し、今週はこれまでで最も多い報告数となっています(図2)。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、ノロウイルスに比べると患者の年齢層がやや低く(6か月から2歳くらいの乳幼児に多い)、症状が少し重い傾向にあるといわれています。健康管理に注意し、手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第18週(4月28日~5月4日)